

中小建設業等経営資源活用型モデル事業の選定結果について

札幌市では建設業の支援を目的として、平成19年度「中小建設業等経営資源活用型モデル事業」を実施しており、4月16日から6月1日までの公募の結果、市内中小建設業等から4件の申請があり、外部審査委員会等の審査を経て、以下のとおり4件の採択を決定しましたのでお知らせいたします。

A「経営改善に関する事業」 1件

・東電工業株式会社(札幌市北区)

事業名：蓄熱式電気床暖房「蓄焚き」の開発

概要：蓄熱式電気床暖房の試作品開発等に取り組み、製造販売による本業の電気工事受注強化を目指す。

B「新分野進出に関する事業」 3件、申請順

・ダイチ工営株式会社(札幌市清田区)

事業名：橋梁補修の技術力を活かしたモノづくり産業分野への参入

概要：橋梁分野での自社のノウハウを活用した新製品開発等に取り組み、製造販売分野への進出を目指す。

・大富工業株式会社(札幌市東区)

事業名：食品工場等から排出される食品残渣のついたポリ袋及び自動販売機等のゴミ回収ポリ袋のリサイクル

概要：新たに事業用ポリ袋用洗浄処理機を導入し、処理工程における成分試験等を行いながら、事業用ポリ袋のリサイクル化を目指す。

・アイケン工業株式会社(札幌市東区)

事業名：ごみステーション用 一時ごみ保管袋 製造販売

概要：ごみステーション用の一時ごみ保管袋の製造販売に向けて、試作品開発等に取り組む。

中小建設業等経営資源活用型モデル事業

市内の中小建設業等が行う、A「経営改善に関する事業」又はB「新分野進出に関する事業」に対して、その経費の一部を補助することにより、公共事業の縮減で影響を受けている市内中小建設業等の取り組みを支援することを目的としています。

A「経営改善に関する事業」は200万円、B「新分野進出に関する事業」は500万円を上限に、対象経費の1/2以内で補助を行います。

制度の詳細は、別紙公募要領をご覧ください。